

特別展「奈良 中宮寺の国宝」

令和3年1月26日(火)～3月21日(日)

九州国立博物館 特別展応援セミナー

奈良

特別展

Manifestations of Mercy:  
Treasures from the Chuguiji Temple

# 中宮寺の国宝



撮影：佐々木 香輔

奈良・斑鳩の中宮寺は、聖徳太子とその母である間人皇女（はしひとのひめみこ）にゆかりのある尼寺です。飛鳥時代（7世紀）につくられた本尊の国宝菩薩半跏思惟像（伝如意輪観音）は、その美しさから多くの人々に愛されています。

そのご本尊を初めて九州にお迎えして開催される本展では、中宮寺の歴史をご紹介するだけでなく、仏像としてはとてもユニークな姿である半跏思惟像のルーツを、仏像発祥の地ガンダーラにまでたどります。古代アジア各地の仏教信仰のつながりは一体どんなものだったのでしょうか。

美術に詳しい方は、「中宮寺の弥勒（みろく）」という言葉を聞いたことがあるかもしれません。今、ご本尊は如意輪観音（によりんかんのん）として信仰されています。なぜ2つの名前があるのでしょうか。セミナーではその謎にも迫ります。

2021年 2月 5日 (金)

18:30～19:30

講師：小泉 恵英 氏

（九州国立博物館 学芸部長）

## 【講師プロフィール】

早稲田大学大学院文学研究科芸術学(美術史)専攻修了。1988年より東京国立博物館東洋課勤務。2009～2013年に九州国立博物館企画課長、2015年より現職。専門は東洋美術史。中国、インドネシア、タイ、インド、パキスタン、アフガニスタン、スリランカなどアジア各国の展覧会を担当。

## お申込方法:

九経調ホームページ(<http://www.kerc.or.jp>)

または QR コードよりお申し込みください。

- ★お申し込みいただいた方へ、参加用 URL がついた登録完了メールが自動返信されます。
- ★資料がある場合、開催時間 1 時間前に登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。

※1: ネット配信サービス「ZOOM」にてライブ配信致します。事前のアプリインストール(無料)を推奨しますが、それが難しい方は、WEBブラウザ(Google Chrome)からご参加ください。

※2: 安定したWi-Fi環境下でご視聴ください。

※3: 参加者の映像・音声・お名前などは表示されません。

※4: 状況により、中止となる可能性があることをご承知おきください。

締切: 2月4日(木)17:00 ※事前のお申込が必要です

参加費: 無料

定員: 50名(定員になり次第締切)



主催: 公益財団法人九州経済調査協会 後援: 公益財団法人九州国立博物館振興財団

※BIZCOLIでのチケット販売はございません。九州国立博物館のホームページより日時指定チケット(事前予約)にてご購入ください。